

2022年6月24日(金)～25(土)1泊2日

川崎地域連合 県外視察(福島第一原子力発電所・J-VILLAGE・東京電力廃炉資料館・請戸小学校・平山霊園・福島水素エネルギー研究フィールド・など)に行ってきました。

24日(金)

10:30JR 郡山駅西口バスターミナルに集合、郡山中央交通さんの貸切バスに乗り双葉郡富岡町へ、東京電力廃炉資料館到着後福島第一原子力発電所構内視察専用バスに乗り換えて、入退域管理棟にて構内での注意事項を聞き線量計を付けて13ヶ所を見学(持ち物はメモ帳、筆記用具などの必要最低限)しました。

※個人での写真撮影はNG



17:30J-ヴィレッジ(宿泊施設)に移動、スタッフの方より施設案内をしてもらいました。

アスリートたちの聖地であり福島復興のシンボルとして、これまで震災後、原発事故対応の中継基地として貢献、2019年4月に全面再開をして東京2020オリンピック聖火リレーの出発地にもなっています。

25日(土)9:00J-ヴィレッジを出発して東京電力廃炉資料館へ、参加者が2つのグループに分かれて、ゾーン1(プロローグ)、ゾーン2(記憶と記録・反省と教訓)、ゾーン3(廃炉現場の姿)などの説明を受けました。



11:00～道の駅なみえから、ガイドさんが乗り、浪江フィールド視察見学

①(写真左) 請戸小学校(児童93名、うち1年生11名は帰宅していて全員無事避難することができました。校舎二階まで津波は来たそうです。)

②(写真左下) 大平山霊園(請戸小学校の子どもたちが避難し津波被害を免れました。写真下の横につながる柵まで津波は来たそうです)

③(写真右) 福島水素エネルギー研究フィールド(太陽光発電を用いた世界有数の水素製造実証拠点としてCO₂を排出しないクリーンなエネルギーとして注目される水素の製造、輸送、貯蔵技術の実証に取り組んでいる)を見学しました。



12:50「道の駅なみえ」に戻り、昼食後、施設内の見学(お土産など)

14:10 貸切バスで郡山駅に出発

16:00 郡山駅に到着後、県外視察団を解散、各自帰路につきました。

川崎運送労働組合 阿部健次郎